

1. 2013年度年会について

京都大学数理解析研究所・理学研究科が開催します2013年度年会は、下記の通り行われます。

場 所： 京都大学吉田キャンパス吉田南構内

日 時： 2013年3月20日（水）より3月23日（土）まで
（市民講演会は3月24日（日））

開催情報のページ：<http://mathsoc.jp/meeting/kyoto13mar/>

2010年度秋季総合分科会から、オンライン講演申込・アブストラクト投稿システムの運用を始めました。以下では、オンラインシステムを用いた講演申込とアブストラクト投稿の大枠について説明して、その詳細について「3. オンライン講演申込・アブストラクト投稿システムについて」において解説します。前回の今年度秋季総合分科会において欧文氏名と欧文所属、欧文講演題目、英文サマリーを例外的な措置として入力をお願いしましたが、今回からこのことを継続することになりましたのでご注意ください。

a) 講演申込について

この会で講演を希望される会員は、原則としてオンラインシステムを用いて申し込んで下さい。何らかの事情でオンラインシステムが利用できない会員に対して講演の機会を保証する手段も考えておりますので、「5. オンラインシステムを使えない会員の講演申込・アブストラクト投稿について」をご覧ください。

「無限可積分系」セッションについても、講演の発表、募集は分科会と同様に公募形式を取り、アブストラクト集の作成、特別講演も分科会と同様に行います。講演希望の方は、オンラインシステムの「希望分科」欄を「XI 無限可積分系」として下さい。

すべての会場で書画カメラとプロジェクタが使用できますので、使用を希望される方は、オンラインシステムで希望のものを申告して下さい。

なお、大会運営の都合により講演時間及び講演件数を制限することもあります。

アブストラクト（予稿）原稿も、下記の注意に従ってオンラインシステムを用いて提出して下さい。

オンラインシステム（APP サーバ）の URL: <https://app.mathsoc.jp/>

オンラインシステムによる申込締切：**12月2日（日）23時59分**

（オンラインシステムの受付開始は11月9日（金）00時00分とします。）

申込件数の制限：応用数学分科会では、申込件数を1人当たり2件以内とします。

アブストラクト原稿：分科会による指定のない限り、2011年度版会員名簿内の“学会アブストラクトの書式”（2011年度改訂版）に従って作成して下さい。オンラインシステム導入にあたって、書式を大幅に改定しましたのでご注意ください。（開催情報のページから“学会アブストラクトの書式”がリンクされています。そこにはアブストラクト作成のためのLaTeXクラスファイルのページもリンクしてあります。）

過去5回のオンライン講演申込・アブストラクト投稿での事例ですが、講演題目および共同発表者に関して講演申込データとアブストラクトの間に度々不整合が見つかりましたのでご注意ください。

またアブストラクト投稿で、カラーの画像を含んだPDFファイルが散見されます。アブストラクトの印刷自体は白黒ですので、それがどのようなになるかは印刷所の状態によります。オンライン講演申込・予稿投稿システムWGでは画像の白黒化はしない形で分科会評議員と特別セッション責任者にPDFを渡すことにします。そして、今後アブストラクトを会員内で公開する場合も、カラーの画像のままとします。以上を理解された上で、カラーの画

像を PDF に含めるようにして下さい。

アブストラクト原稿の投稿期限も、講演申込と同じく、

12月2日(日) 23時59分

とします。

キーワード・分類コード：数学基礎論および歴史，函数論，実函数論，統計数学，応用数学各分科会への講演申込にあたっては，オンラインシステム上でそれぞれ次の分類コードから選択します。この場合，オンラインシステムではキーワード・分類コードの選択がないとエラーとなりますのでご注意ください。また，上記の分科会以外ではキーワードの記入ができませんようになっています。

数学基礎論および歴史分科会：1 [数学基礎論]，2 [歴史]

函数論分科会：1 [1変数函数論]，2 [多変数函数論]

実函数論分科会：1 [フーリエ解析]，2 [関数空間]，3 [発展方程式]，
4 [バナッハ空間の幾何，不動点定理]，
5 [測度論，積分論]，6 [その他]

統計数学分科会：1 [確率論，確率過程論]，2 [計画数学]，
3 [確率分布，標本分布，乱数]，4 [実験計画法]，
5 [多変量解析]，6 [時系列解析]，
7 [ノンパラメトリック解析]，8 [漸近理論]，9 [応用統計]，
10 [推測理論] (3-7に含まれないもの)，11 [その他]

応用数学分科会：1 [解析系応用数学]，2 [離散系応用数学]，3 [その他]

上の分類コードは，講演申込数の動向などに応じて改訂を検討することになっておりますので，ご意見を連絡責任評議員までお寄せ下さい。

講演題目中の数式：すでに数学通信14巻4号の会報でお願いしましたが，講演題目に用いる数式は最小限に留めるようお願いいたします。

b) 学会講演申込書・学会プログラムの名誉教授の扱いについて

2007年度版会員名簿「学会講演申込書を書くときの注意」の中に「名誉教授は空欄にして下さい。」と記載してありましたが，2008年3月28日の理事会にて「学会講演申込書には名誉教授であることをご明記いただき，学会プログラムでは名誉教授を表すマークを付けて所属欄に記載する」と決定しました。オンライン申込では「**大名誉教授」と入力することになりますので，名誉教授の方はお忘れないようにお願いします。

c) 予稿集について

各分科会，セッションともアブストラクト原稿に従って講演予稿（アブストラクト）集を作ります。

d) 講演申込の確認について

前回までの大会と同様に，プログラム編成会議終了後に，講演者名と講演題目を確認のためにウェブ上で公開します。今回は12月24日(月)に開催情報のページにおいて公開します。(公開開始のニュースを会員向けのニュース欄においてお知らせします。) 確認した結果，何かお気づきの会員は，12月28日(金)までに program@mathsoc.jp までご連絡下さい。

軽微な字句修正につきましてはお断りする場合もあることを予めご承知下さい。また，アブストラクトの PDF の差し替えはいかなる理由があってもお引き受けいたしません。

e) 会合の申込について

各分科会または研究団体で、会合のために部屋の準備を必要とされる場合は、オンラインシステムで申請をしていただくようお願いいたします。①会合の名称，②責任者の氏名・連絡先（電子メールアドレス，なければファックス番号または電話番号），③使用の日時・人数，④弁当の有無等，⑤プログラムへの掲載希望を，オンラインシステム上の様式に従って入力して下さい。

分科会の会場を使つての会合に関しても，分科会のプログラムや全体の「委員会等日程」への掲載の必要がある場合は，必ずこのシステムを通して登録をお願いします。また，お弁当の個数の開催校への連絡も，登録のあった会合申込のページを通して申込期限後に行っていただきます。以上の詳細については，開催情報のページからリンクをしてありますので，参照して下さい。

なお，期限後の申込については，会場確保が不可能となる場合もあります。

オンラインシステム上での会合申込：<https://app.mathsoc.jp/kaigi/>

申込期間：11月9日（金）00時00分から12月2日（日）23時59分まで

f) 無限可積分系

このセッションについては，日本数学会理事会の責任において行うものですが，今回の実務的な責任者は長谷川浩司氏（東北大学大学院理学研究科）です。

g) 企画特別講演について

企画特別講演は，1996年度第3回評議員会において承認され，1997年度年会から始まった企画で，大学院生などの若い会員にとって，年会・総合分科会への参加がより意義のあるものになることを目的としています。講演者は，分科会評議員および「無限可積分系」セッション責任者からの推薦をもとに，理事会が決定いたします。講演は，学会期日中の第1日，第3日，第4日の3日間の13:00～14:00に複数を平行して開催します。この時間は一般講演・特別講演などの通常プログラムは設定しません。また，アブストラクトは総合講演アブストラクトと合わせて作成します。

h) 書籍等展示の申し込みについて

賛助会員で書籍等の展示を希望される場合は，申込書2枚（日本数学会理事長宛，大会委員長宛）を申込締切11月30日（金）厳守で下記（展示とりまとめ当番社）へお送り下さい。（締切後の追加申し込みはご容赦下さい。）

送り先：〒113-0034 文京区湯島4-1-22

（株）マテマティカ

電話:03-3816-3724 FAX:03-3816-3717

電子メールアドレス 大会の準備のために以下の電子メールアドレスを用います（アドレスには@mathsoc.jpを付け加えて下さい）。

大会に関する全般的な照会
講演題目の確認のためなど
特別講演・企画特別講演関係
入会希望者の仮IDの申込
オンラインシステムに関する質問
オンラインシステムが使えない会員のためのサポート

kyoto13mar
program
tokubetu
member
inquiry.mgate
app-support

理事長
オンラインシステムの担当理事（戸瀬信之）

president
tose